

稚内市民男女共同参画意識調査ご協力のお願い

日頃から、本市の男女共同参画の推進に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、平成 30 年度に「第 3 次稚内市男女共同参画行動計画（令和元年度～令和 5 年度）」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでおります。

この調査は、計画の期間が終了する令和 5 年度に、男女共同参画社会などに関する市民の皆さまの意識や実態を把握し、新たな計画を策定するための基礎資料として活用させていただくため、市内にお住まいの満 18 歳以上の方 2,000 人をコンピューターで無作為に抽出し、実施するものです。

結果についてはすべて統計的に処理し、個人にご迷惑をおかけすることはございませんので、ご自身のお考えをありのままお答えください。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

（記入上の注意点）

- 1 お答えは、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。
ご本人によるご回答が困難な方は、ご家族などのご協力によりご回答ください。
- 2 ご記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
- 3 お答えは、あてはまる番号を選んで○をつけてください。
「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが（ ）内に具体的にその内容をお書きください。
- 4 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してご返送いただくか（その際、ご住所やお名前などは記入いただく必要はありません。また、切手は不要です。）、下記二次元コードを読み取りのうえ、WEB回答フォームへ入力するか、いずれかの方法でご回答ください。

(URL : <https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=66XT9L2r>)



恐れ入りますが、令和5年5月31日（水）までに回答してください。

- 5 この調査票の内容についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

〈お問い合わせ先〉

稚内市 企画総務部 企画調整課 計画経営グループ
〒097-8686 稚内市中央3丁目13番15号
電話番号：0162-23-6187（直通）

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別についてお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢についてお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18歳～29歳 | 4. 50歳～59歳 |
| 2. 30歳～39歳 | 5. 60歳～69歳 |
| 3. 40歳～49歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業についてお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 農業 | 7. 会社役員 |
| 2. 漁業 | 8. 公務員・団体職員 |
| 3. 自営業 | 9. 家事従事(無職の主婦・主夫) |
| 4. 商業・サービス業 | 10. 学生 |
| 5. 製造・建設・加工業 | 11. パート・アルバイト・契約社員 |
| 6. 会社員 | 12. 無職・無業 |
| | 13. その他(具体的に:) |

問4 あなたは現在、結婚されていますか。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 結婚している | → (問4-1へ) |
| 2. 配偶者と離・死別 | → (問5へ) |
| 3. 未婚である | → (問5へ) |

問4-1 問4で「結婚している」と答えた方にお聞きします。配偶者の方の職業について、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 農業 | 7. 会社役員 |
| 2. 漁業 | 8. 公務員・団体職員 |
| 3. 自営業 | 9. 家事従事(無職の主婦・主夫) |
| 4. 商業・サービス業 | 10. 学生 |
| 5. 製造・建設・加工業 | 11. パート・アルバイト・契約社員 |
| 6. 会社員 | 12. 無職・無業 |
| | 13. その他(具体的に:) |

問5 結婚についてどう思いかお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

1. 結婚した方がいい

→ 1. 「結婚した方がいい」に○をつけた方は、
その理由を下から1つ選んで○をつけてください。

1. 結婚することが普通だから
2. 一人前になるため
3. 子どもが欲しいから
4. それが人としての幸せだから
5. 世間体があるから
6. 経済的に自立していないから
7. なんとなく
8. その他 ()

2. 経済的に独立し生活できるのであれば、結婚しなくてもよい

3. 結婚する、しないは個人の自由であるからどちらでもよい

4. その他 ()

問6 離婚についてどう思いかお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください)

1. 夫婦は決して離婚すべきではない
2. 子どもがいれば離婚すべきではないが、子どもがいなければ離婚してもかまわない
3. 経済的に独立し生活できるのであれば離婚してもかまわない
4. 互いに納得できれば離婚してもかまわない
5. それぞれの事情があつてのことなのでなんともいえない
6. わからない
7. その他 ()

問7 あなたの子育て経験についてお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

1. ある	2. ない
-------	-------

問8 あなたの世帯構成についてお聞きします。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

1. 単身世帯	4. 親・子・孫3代にわたる世帯 (3世代)
2. 夫婦世帯	5. その他 ()
3. 夫婦と子どもの世帯 (2世代)	

男女平等意識についておたずねします。

問9 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

- 1. 言葉も内容も知っている
- 2. 言葉は知っているが内容までは知らない
- 3. 言葉も内容も知らない

「男女共同参画」とは…
 男女共同参画とは、男女が互いにその人権を尊重し、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいいます。

問10 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。(それぞれあてはまる数字を選び○をつけてください。)

①～⑦の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)	男性がかなり優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性がかかなり優遇されている	どちらともいえない	わからない
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6	7
② 職場	1	2	3	4	5	6	7
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6	7
④ 地域活動の場(町内会など)	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 政治の場	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6	7

問11 今後、男女が社会のあらゆる分野に参画し、対等に処遇される機会の平等を確保するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号を最大3つまで選び○をつけてください。)

- | |
|--|
| 1. 法律や制度の見直し
2. 家庭や学校で、男女平等についての教育内容を充実
3. 職場内での男女平等処遇の徹底
4. 家庭と仕事を両立できるような職場のシステムづくり
5. 地域活動や社会活動への参画を支援するための環境の整備
6. 企業や行政などの重要な役職に女性を登用
7. 個人の自覚と知識・能力の向上
8. 男女を取り巻く様々な偏見、社会通念やしきたり、慣習の見直し
9. 女性の政治・職場・社会活動への積極的な参画
10. 女性の経済力の向上
11. 女性の就業を支援する施設やサービスの充実
12. その他 ()
13. 特にない |
|--|

家庭生活についておたずねします。

問12 あなたの家庭では、家事は主にどなたが担われていますか。(それぞれあてはまる数字を選び○をつけてください。)【※印は該当者のみ回答願います】

① ~⑨の項目について、 あてはまるものに○をつけてください。 (○はそれぞれ1つずつ)	自分が担っている	配偶者が担っている	親が担っている	その他の人が担っている	家族で役割分担し 自分も一部を担っている
① 食事の支度	1	2	3	4	5
② 食事の後片付け	1	2	3	4	5
③ 食料品や日用品の買い物	1	2	3	4	5
④ 洗濯	1	2	3	4	5
⑤ 掃除	1	2	3	4	5
⑥ ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑦ 家計の管理	1	2	3	4	5
⑧ 育児 ※該当する方のみ	1	2	3	4	5
⑨ 家族の介護 ※該当する方のみ	1	2	3	4	5

問13 夫婦の役割や子育てに関する考え方についてお聞きします。(それぞれあてはまる数字を選び○をつけてください。)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	どちらともいえない
① ~③の項目について、 あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)					
① 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
② 子どもは3歳くらいまで母親が家庭で育てるべきである	1	2	3	4	5
③ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい	1	2	3	4	5

社会活動・地域活動についておたずねします。

問14 あなたは、これまでに仕事・家庭生活以外で、どのような活動に参加したことがありますか。(あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。)

1. 町内会・子ども会・婦人会
2. ボランティア活動
3. P T A活動
4. グループでの学習活動
5. グループでのスポーツ活動
6. グループでのスポーツ以外の趣味活動
7. 住民運動
8. 消費者運動、生活共同組合
9. 宗教活動
10. 労働組合、政治活動
11. 国際交流活動
12. 審議会、委員会などの公的活動
13. その他 ()
14. 参加しているものはない
→ (14. と答えた方は「問14 - 1」へ)

問14-1 問14で「参加しているものはない」と答えた方にお聞きします。その理由はどのようなことですか。(あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。)

1. 仕事が忙しいから
2. 家事・育児が忙しいから
3. 家族の協力が得られないから
4. 健康上の理由から
5. 介護が忙しいから
6. 情報が少ないから
7. 活動する仲間がないから
8. 興味・関心がないから
9. その他 ()

問15 あなたは自分でやってみたいと思った活動に対し、自分の性別が壁となりそれをあきらめなければならなかった経験はありますか。(あてはまる番号を選び○をつけてください。)

1. はい → (問15-1へ)
2. いいえ → (問16へ)

問15-1 問15で「はい」と答えた方にお聞きします。それはどのような活動で、あきらめた理由はどのようなことでしたか。(下記へ記入ください。)

(どのような活動ですか?)

(あきらめなければならなかった理由はなんですか?)

教育についておたずねします。

問16 男女共同参画社会を実現するためには、小さい頃からの教育が大切であるといわれていますが、小学校・中学校で取り組む必要があると思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号を最大3つまで選び○をつけてください。)

1. 出席簿や並び方の順番など、男女を分ける慣習をなくす
2. 学校での指導において、男女の別なく個性を生かせるように配慮する
3. 教員に対して、男女共同参画に関する研修を充実する
4. 男女平等の意識を育てる授業をする
5. 人権に関する授業をする
6. 保護者会などを通じ、男女平等教育を啓発する
7. その他 ()

就労についておたずねします。

問17 女性が職業を持つこと、持ち続けることについてどのように思いますか。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

1. 女性は職業を持たない方が良い
2. 結婚するまでは職業を持つ方が良い
3. 出産するまでは職業を持つ方が良い
4. 育児中は休業、子育て後に再就職するのが良い
5. 結婚・育児等に関係なく職業を持ち続けるのが良い
6. わからない
7. その他 ()

問18 今の社会は、女性が働きやすい状況にあると思いますか。(あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。)

1. 働きやすい → (問18-1へ)
2. おおむね働きやすい → (問18-1へ)
3. あまり働きやすくない → (次ページの問18-2へ)
4. 働きづらい → (次ページの問18-2へ)
5. わからない → (次ページの問19へ)
6. その他 () → (次ページの問19へ)

問18-1 問18で「働きやすい」、「おおむね働きやすい」と答えた方にお聞きします。働きやすいと思われる理由はどのようなことですか。(下記へご記入ください。)

問18-2 問18で「あまり働きやすい」、「働きづらい」と回答された方にお聞きします。その理由はどのようなことだと思いますか。（あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。）

1. 家事・育児と仕事の両立が難しい
2. 家事・介護と仕事の両立が難しい
3. 育児で退職後の再就職（正職員）が難しい
4. 保育制度や施設が十分ではない
5. 「男は仕事、女は家庭」という社会通念が強い
6. 結婚、出産退職の慣行がある
7. 育児休業が取れない、育児制度が整っていない
8. 能力を正當に評価されない
9. 性別によって昇進・給与・教育訓練に差がある
10. 能力を發揮する場がない
11. 働く場が限られている
12. 職場や職場の周りの人々の理解が得にくい
13. 家族の理解、協力が得にくい
14. セクシュアル・ハラスメント（性的な嫌がらせ）の被害にあうことがある
15. その他（)

問19 夫婦が仕事と家庭のバランスをとり、よりよく暮らしていくために必要な環境整備はどのようなことだと思いますか。（あてはまる番号を最大3つまで選び○をつけてください。）

1. 男女を問わず、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること
2. 育児・介護休業中の賃金の手当てなどの経済的支援を充実すること
3. 地域の保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実すること
4. 職場内に保育施設を整備すること
5. 在宅勤務やフレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度を導入すること
6. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
7. 子育てや介護などを理由に退職した者を元の職場で再雇用する制度を導入すること
8. 男性中心の職場運営を見直すこと
9. 賃金や昇進などの男女間格差をなくすこと
10. パート、派遣・契約社員などの非正社員の労働条件を改善すること
11. 職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容を充実すること
12. 男女がともに仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること
13. 仕事や職場環境についての相談窓口を充実すること
14. その他（)

「少子・高齢化」についておたずねします。

問20 「少子化」の理由はどのようなことが原因だとお考えですか。(あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。)

1. 経済的に余裕がないから(育児や教育にお金がかかるなど)
2. 結婚しない人が増えたから
3. 育児と仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていないから
4. 結婚年齢が上昇しているから
5. 親となる人が子どもを取り巻く環境や将来に不安を持っているから
6. 子どもを持つことよりも自分の趣味等を大切にする人が増えているから
7. 女性の心理的、肉体的負担が大きいから(出産、育児など)
8. 出産の際の医療体制に不安があるから
9. 少なく生んで、十分手をかけて育てたいという人が増えているから
10. 家が狭いといった住宅事情や遊び場等の生活環境が悪いから
11. 出産や育児に対する夫婦間の理解・協力が足りないから
12. 子どもがほしくないと思う人が増えたから
13. その他()
14. わからない

問21 「少子化」を解決するために重要なことはどのようなことだと思いますか。(あてはまる番号を最大3つまで選び○をつけてください。)

1. 男女とも育児に参画するようになるために、社会全体の意識を改革すること
2. 子どもの出産・育児手当などを充実させること
3. 保育事業を整備すること(保育施設の整備や保育時間の延長など)
4. 勤務体制の整備(育児休業や短時間勤務など)や制度の拡充(育児休業中の身分や所得補償、育児後の再雇用など)を図ること
5. 育児支援ネットワークを整備・充実させること
6. 出産・育児の楽しさ、すばらしさをアピールすること
7. 安心して出産できるような医療体制を整備すること
8. 女性が社会に進出しないこと
9. 家計に余裕があること
10. その他()

問22 仮にあなたが子どもを産み育てるとしたら、あなたは本市で子どもを産み育てたいと思いますか。(あてはまる番号を選び○をつけてください。)

1. 産み育てたい
2. どちらかといえば産み育てたい
3. どちらかといえば産み育てたくない
4. 産み育てたくない

問22-1 問22を答えた方にお聞きします。そのように思われる理由はどのようなことですか。(下記へご記入ください。)

問23 仮にあなたが子育てをしたら、本市は子育てしやすい環境だと思いますか。(あてはまる番号を選び○をつけてください。)

1. しやすい環境だと思う
 2. どちらかといえばしやすい環境だと思う
 3. どちらかといえばしにくい環境だと思う
 4. しにくい環境だと思う

問24 あなたは自分の老後について不安はありますか。(あてはまる番号を選び○をつけてください。)

1. ある → (問24-1へ)
 2. ない → (問24-2へ)

問24-1 問24で「ある」と答えた方におたずねします。それはどのようなことですか。(あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。)

1. 働きたくても仕事がないこと
 2. 配偶者に先立たれた後の生活のこと
 3. 子どもや孫などと別居して孤独になること
 4. 介護が必要になったときのこと
 5. 友人・仲間とのつきあいのこと
 6. 適当な趣味がないこと
 7. 生活費のこと
 8. 健康のこと
 9. 住居のこと
 10. その他 ()

→ (次ページの問25へ)

問24-2 問24で「不安はない」と答えた方にお聞きします。老後の生活を安心して充実したものとするためには何が必要だと思いますか。(下記へご記入ください。)

